

報道関係各位

公益財団法人渋沢栄一記念財団 渋沢史料館

渋沢史料館リニューアルオープンのご案内

渋沢史料館は、昨年よりリニューアル工事を進め、本年 3 月 28 日にリニューアルオープンを予定しておりました。新型コロナウイルス感染予防・拡散防止のため開館を延期していましたが、公益財団法人日本博物館協会が定めた「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づく対策を講じたうえで、11 月 19 日(木)より一般公開を開始いたします。

■■ リニューアルオープン

新しい展示では、昭和 57 年の開館以来の調査研究、諸活動の成果に基づいて、近代日本経済社会の基盤をつくった渋沢栄一を3つのテーマ ―「ふれる」、「たどる」、「知る」― で紹介いたします。みなさまには、これまで以上に渋沢栄一に親しんでいただき、常に関心をもっていただけるような博物館活動を展開してまいりたいと考えております。

当面は、新型コロナウイルスの感染を予防するため、開館日、開館時間を限定し、オンライン申込による 完全予約制といたします。なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開館方法や対応を変更します。 当館ウェブサイトでお知らせしますので、ご確認ください。

■一般公開初日:令和2年11月19日(木)

■開館日 : 火曜日、木曜日、土曜日

■開館時間 :10:30~12:00、14:00~15:30

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開館方法や対応を変更します。

■入館方法 :完全予約制(渋沢史料館ホームページよりご予約いただけます)。

■入館料 : 一般 300円、小中高生 100円

■感染症対策 :別紙「新型コロナウイルス感染症に対する渋沢史料館の取り組み」をご参照ください。

■住所 : 東京都北区西ヶ原 2-16-1 飛鳥山公園内

■アクセス:※駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用下さい。

- ・JR 京浜東北線王子駅南口より徒歩約5分
- ・東京メトロ南北線西ヶ原駅より徒歩約7分
- ・都電荒川線飛鳥山停留所より徒歩約4分
- ・都バス飛鳥山停留所より徒歩約5分
- ・北区コミュニティバス飛鳥山公園停留所より徒歩約3分
- ■その他:・旧渋沢庭園は入園無料です。
 - *入園時間は、季節により変わります。

3月~11月 9:00~16:30 / 12月~2月 9:00~16:00



渋沢史料館は

令和2年秋、リニューアルオープンします。



3つのテーマで 91年の人生を たどる 幅広い活動を 知る

渋沢史料館は、渋沢栄一の活動を広く紹介する博物館として、昭和57年11月に開館しました。そして平成10年3月の新館オープンから22年を経て、このたび、令和2年秋、渋沢史料館は装いも新たにリニューアルオープンします。

栄一の基本資料集『渋沢栄一伝記資料』(全 68 巻)はもちろん、開館以来の調査研究、諸活動の成果に基づいて、近代日本経済社会の基盤をつくった渋沢栄一を3つのテーマ ― 「ふれる」、「たどる」、「知る」 ― でひも解きます。

また栄一の飛鳥山邸の変遷を楽しみながらパノラマの景色をご覧いただける「リフレッシュコーナー」、デジタル画像で飛鳥山邸を体験する「渋沢栄一さんぽ」をはじめ、栄一に関する図書を自由にお読みいただける「青淵書屋」(せいえんしょおく*当面休止)、弊館発行の展示図録やオリジナルグッズを取り揃えた「青淵商店」など、さらに充実した施設となりました。

今後弊館では、企画展や様々な普及事業、イベントを開催する予定です。 皆様のご来館を心よりお待ち申し上げております。



3つのテーマで ひも解く 渋沢栄一

渋沢栄一にふれる



常設展示「渋沢栄一にふれる」イメージ図

曖依村荘で渋沢栄一にふれる

渋沢栄一がかつて暮らした曖依村荘。渋沢史料館はその一角に建っています。 栄一がすごした場所で、その人柄にふれてください。

渋沢栄一の日常にふれる

栄一はどのような日常生活をおくっていたのでしょうか?

栄一の日々の生活を、当館に残された在りし日の栄一の姿を見ることができる 映像、栄一の回想、関連資料から垣間見ます。

渋沢栄一の思いにふれる

渋沢栄一の活動の根底にある、その思いにふれていただきます。

「忠恕」、「合本主義」、「道徳経済合一説」にまつわる栄一の思いと、栄一自筆の資料などをご覧いただきます。

渋沢栄一の言葉にふれる

渋沢栄一が演説や講演会などで語った、数々の言葉が展示室内に投影されます。 ぜひ、好きな言葉を見つけてください。

渋沢栄一をたどる



常設展示「渋沢栄一をたどる」 イメージ図



年齢ごとに渋沢栄一をたどる

渋沢栄一91年の生涯を、年齢ごとの展示ユニットでご覧いただきます。 生まれ(天保11年)から順に見ても、あるいは好きな年齢だけを見るのもOK! どうぞ自由に栄一の生涯をたどってください。

展示ユニットの引き出し *引き出しの使用は当面休止いたします。

各年齢のユニットには、それぞれ引き出しが付いています。

引き出しの中には、渋沢栄一に関する情報がたくさん詰まっています。

1段目:栄一の主な活動を月ごとに紹介しています。

2 段目:ユニット壁面や展示資料の関連資料のほか、付属情報や補足などをご覧いただけます。

渋沢栄一を知る



答礼人形の送別会 日本青年会館にて 昭和2年11月4日

渋沢栄一の幅広い活動を知る

渋沢栄一が携わったさまざまな事業や活動、そして多くの人々との交流をご紹 介します。

「たどる」や「ふれる」で紹介している内容をさらに掘り下げる、あるいは新たなテーマを取り上げるなど、随時展示替えを行います。

リニューアルオープン時は、4つのテーマを展示

「栄一と養育院」

「栄一と商業教育」

「栄一と徳川慶喜」

「栄一と国民外交」

以上の計4テーマです。



■ そのほか

映像上映

リニューアルにあたり、ご来館の皆様にご覧いただく映像を新たに制作しました。 弊財団相談役渋沢雅英が栄一を紹介する「渋沢雅英が語る渋沢栄一の生涯」、同じく 渋沢雅英が曾祖父栄一への思いを語る「曾祖父渋沢栄一の思い出」の計2本です。 ぜひご覧ください。

リフレッシュコーナー

渋沢栄一が住んだ飛鳥山邸の変遷図を楽しみながら、パノラマの景色をご覧いただけ ます。展示見学で疲れた目をお休めください。

渋沢栄一さんぽ

かつて渋沢栄一が住んだ飛鳥山邸をデジタル画像で体験するコーナーです。 現在では失われてしまった、栄一が住んでいた時代の邸宅、茶室などをご覧いただく とともに、現在の旧渋沢庭園の四季の様子もお楽しみいただけます。

青淵書屋 *青淵書屋は当面休止いたします。

書屋(しょおく)とは、書物・図書を入れて置く部屋、書斎のことです。

渋沢栄一は昭和2年に、自ら手写した『論語』(玻璃版・上下2冊)の複製を知人に贈りました。そして複製本に使用した罫紙の前小口に「晩香書屋」と記されていたことから、この部屋を「青淵書屋」と名づけました。

渋沢栄一にまつわる図書や当館の刊行物を取りそろえました。どうぞご自由にお読みください。

青淵商店

弊館発行の展示図録や関連書籍、オリジナルグッズ等を取り揃えております。 ご来館の際にはぜひ、お立ち寄りください。



広報用画像一覧

- ■下記の広報用画像をご用意しています。 画像の使用をご希望される場合は、次ページの掲載申請書に必要事項をご記入の上、FAX でお申込みください。
- ■<ご使用時の注意とお願い>
 - ・画像の提供は、当館リニューアルオープンをご紹介いただく場合のみとさせていただきます。
 - ・画像はメール添付にてお渡しします。ご使用後は必ず画像を破棄してください。
 - ・画像の掲載にあたって、資料名とクレジット(渋沢史料館所蔵・渋沢史料館提供)を明記してください。
 - ・基本情報確認のため、入稿前に校正原稿を広報担当までお送りください。
 - ・掲載、放送後は、掲載誌(紙)、DVD等を広報担当まで1部ご寄贈くださいますようお願い申し上げます。

①常設展示「渋沢栄一にふれる」イメージ図 (渋沢史料館提供)





⑤晚香廬 (渋沢史料館所蔵)



②常設展示「渋沢栄一をたどる」イメージ図 (渋沢史料館提供)



④講演する渋沢栄一 昭和2年(渋沢史料館所蔵)



⑥青淵文庫 (渋沢史料館所蔵)





広報用画像データ使用申請書

下記にご記入のうえ、このまま FAX で送信してください。

■ご希望の画像にチェックを入れてください。

【渋沢史料館リニューアルオープン】

公益財団法人 渋沢栄一記念財団 広報行

FAX: 03-3910-2849

チェック欄	画像番号	資料名	クレジット
	1)	常設展示「渋沢栄一にふれる」イメージ図	渋沢史料館提供
	2	常設展示「渋沢栄一をたどる」イメージ図	渋沢史料館提供
	3	渋沢栄一 古希	渋沢史料館所蔵
	4	講演する渋沢栄一 昭和2年	渋沢史料館所蔵
	(5)	晚香廬	渋沢史料館所蔵
	6	青淵文庫	渋沢史料館所蔵
	画像を掲載	する際には、<ご使用時の注意とお願い>を遵守いたします	
■以下、ご記入ください。			
申込日	年	月日()	
貴社名	貴社名		
ご連絡先 TEL/FAX			
E-mail			
 掲載(放映)コーナー名			
発行(放映)予定日			
発行部数			
 定価			